報道関係各位

畜産物の環境負荷低減の取組の「見える化」新たな取組事例を紹介！

～牛乳乳製品・牛肉で「実証用みえるらべる」を表示～

〇畜産物の環境負荷低減の取組の「見える化」販売実証商品（第3弾）を紹介。
〇牛乳乳製品・牛肉においても、生産段階の環境負荷低減の取組の「見える化」が拡大。

牛乳乳製品・牛肉でも、生産者の環境負荷低減の取組を消費者へ分かりやすく伝える「見える化」の取組を進めており、その一環で「実証用みえるらべる」を表示した販売実証を行っています。今回は、「実証用みえるらべる」の新たな表示事例を紹介します。



「実証用みえるらべる」

1．畜産物の環境負荷低減の取組の「見える化」について

環境負荷低減の取組の「見える化」は、「温室効果ガス簡易算定シート」により、生産段階のデータに基づく温室効果ガス排出量を地域の標準的な排出量と比較した削減貢献率に応じて、星の数（等級）で分かりやすく表示する取組です。農産物では米や野菜、果樹など24品目で「みえるらべる」を表示した商品の販売を行っています（令和８年11月時点）。

畜産物についても、対象品目への拡大に向けた検討を進めており、牛乳乳製品・牛肉では、飼養頭数、月齢、飼料、排せつ物処理方法、エネルギー使用量な

どの生産情報を用いて温室効果ガス排出量を算定し、その結果に応じて「実証用みえるらべる」を表示した販売実証を行っています（令和 8 年 11 月時点）。
（参考）見つけて！農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」 ～温室効果ガス削減への貢献と生物多様性保全への配慮～

2.「実証用みえるらべる」表示の新たな取組事例

今回、販売実証を新たに開始する商品及び店舗は次のとおりです。
（参考）販売実証を実施する商品及び店舗（第 3 弾）（PDF：1,110KB）

・「小栗和牛」　（株）オグリ牧場
販売実証予定期間：令和 8 年 11 月下旬から（終了時期未定）
販売実証予定店舗：（愛知県）The Origin Plate、四間道 松、
イタリアンレストラン おく、
フランス料理　dai-DAN～en～、Uptown やまびこ、
LA MODESTIE、HANROK、焼肉 水谷、
（東京都）Stunts、
（神奈川県）よしみつ
生産現場での主な取組：地元醸造会社等の副産物を飼料として活用

・「飛騨牛」　JA 全農ミートフーズ（株）　吉田ハム養老ファーム
販売実証予定期間：令和 8 年 11 月下旬から（終了時期未定）
販売実証予定店舗：（岐阜県）吉田ハム　アル・プラザ鶴見店
生産現場での主な取組：国産飼料の活用や家畜排せつ物の強制発酵

・「生協牛乳 120」　生活協同組合コープしが（大山乳業農業協同組合）
販売実証予定期間：令和 8 年 12 月上旬から（終了時期未定）
販売実証予定店舗：（滋賀県）コープぜぜ店、コープかたた店、
コープもりやま店、コープながはま店、
宅配販売
生産現場での主な取組：自給飼料の活用

3. 取組の広がりと今後の展開

既に開始している販売実証の取組事例においても、算定データの更新を行い「実証用みえるらべる」の表示を継続した商品や、販売店舗を拡大した商品もあり、生産者の環境負荷低減の取組を消費者へ伝える機会が広がっています。

農林水産省では、生産者や事業者の皆様のご協力の下、引き続き販売実証を行い、運用上の課題の把握や改善を進めるとともに、新たな協力先・商品を随時募集しています。算定シートの入力や販売実証への参加についてご関心のある方は、下記【お問合せ先】までお気軽にご連絡ください。なお、既に開始している販売実証の取組事例など、本取組の詳細については、次のリンクをご参照ください。

（参考）畜産物の環境負荷低減の見える化実証

お問合せ先

大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
担当者：地球環境対策室　地球温暖化対策調整・推進班
代表：03-3502-8111（内線 3289）ダイヤルイン：03-6744-2473

畜産局総務課
担当者：畜産総合推進室　調整班
代表：03-3502-8111（内線 4888）ダイヤルイン：03-6744-0568

メールアドレス：mieruka-chikusan★maff.go.jp
（★は@に置き換えてください）